

Information

～子宮頸がんとHPVワクチン～

公費によるHPVワクチン
「キャッチアップ接種」期間
に関するお知らせです！

♡まだ間に合います！
早めに医療機関に相談を！！



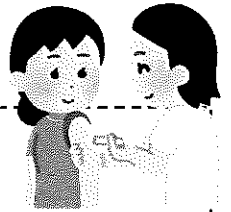
HPVワクチン の『キャッチアップ接種』が

条件付きで**期限延長**されます！

♡2025年の3月31日まで*に1回以上接種すれば、
公費で全3回の接種を完了できます

※キャッチアップ接種期間(2022年4月1日～2025年3月31日)中の接種が対象

公費によるHPVワクチン接種は2024年度末(2025年3月末)まででしたが、
大幅な需要増などにより、接種を希望しても受けられなかった方へ
条件付きで期限延長されることになりました。



【対象者】

●キャッチアップ接種対象者

1997(平成9)年度生まれ～2007(平成19)年度生まれの女性

●2025年度に定期接種の対象から外れる方

2008(平成20)年度生まれの女性 ←新たに対象となります

【期間】

●キャッチアップ接種期間終了後、1年間(2026年3月31日まで)

※接種は合計3回で、接種完了までに約6か月間かかります

★ HPVワクチンについて

- HPVには子宮頸がんをおこしやすい型があり、HPVワクチンは、このうち一部の感染を防ぐことができます。
- 現在、3種類(2価/4価/9価ワクチン)のHPVワクチンがあります。
 - ・HPVには多くの型があり、中でも子宮頸がんに関わりがあり、原因の50～70%を占めるのは「HPV16型/18型」です。これらはどのHPVワクチンでも感染の予防が期待できます。
 - ・「9価ワクチン」では、子宮頸がんの原因の80～90%を占める7種類のHPVの感染を予防することができます。

*HPVワクチン接種後に体調の変化が現れたら、まずは接種を受けた医療機関の医師にご相談ください。



★HPVワクチンについて
詳しく知りたい方は
厚生労働省のホームページ
をご覧ください。

